

【市議会最前線】「女性限定」みんなの声カフェで広報機能を充実＝南砺市(富山県) 26/10/01 08:00 Nf001

南砺市議会広報広聴特別委員会では、議会活動を知っていただくとともに、市民の声を市政に生かそうと、これまで定例会議後に年4回の議会報告会を開催してきました。しかし、参加者の減少や固定化が進み、若者や女性の参加が少ないことが課題となっていました。そこで、広報広聴活動の新たな手法を試みることにしました。

令和8年5月には、女性が気軽に話せる場をつくろうと、初めて「女性限定」の議会報告会を開催。名称も親しみやすく「『女性限定』みんなの声カフェ」としました。参加申し込みはQRコードを活用し、託児も用意するなど、子育て世代も参加しやすい環境を整えました。(2組4人の託児利用がありました)



女性を対象にした議会報告会「『女性限定』みんなの声カフェ」。暮らし、子育てに関する率直な声が寄せられた

議会からの報告は5分程度にとどめ、意見交換の時間を重視しました。参加者には、①関心のあることや困っていること、②その背景やエピソード、③理想の状態や要望、④そこに込められた願いや思い、を用紙に書いてもらい、その後4、5名のグループで話し合いました。各グループには議員2人が進行役と記録役として入り、最後に意見をまとめて発表しました。

「小規模校が増え、子ども同士が交流する場が少ない」「子育て世代のママが集まって話せる場がない」「地域の会合では女性が発言しにくい」「子どもの屋内の遊び場や、日陰のある公園、ベンチがほしい」など、暮らしや子育てに関する率直な声が寄せられました。また、「いろいろな意見を聞ける貴重な機会だった」「このような場をもっと増やしてほしい」との声もあり、今後も開催を検討しています。

8月には対象を限定しない「みんなの声カフェ」も開催し、参加者全員から「よかった」との感想をいただきました。

さらに7月には、中学生向けの「発見！なんと市議会＃こども版」を発行。高校生との意見交換や、PTA連合会との意見交換会などにも取り組んでいます。



グループでの話し合いの後、意見を発表

若者や女性を含めた多様な市民の声を聴くことは、開かれた議会づくりの出発点です。これからも新しい発想を取り入れながら、より身近で、参加しやすくなる機会の充実を目指していきます。(了)